

創徳中学校通信



DRAGONGATE Ben-K, しゃちほこ BOY 参上!

6月25日(水)、「プロレスラーが夢と勇気を届けます!!」という企画で、プロレス団体「DRAGONGATE(ドラゴンゲート)」の Ben-K選手としゃちほこ BOY選手が来校し、2年生の生徒がふれあいの時間を持ちました。プロレス技の紹介や生徒・職員との実演、フライパン曲げや有志生徒との綱引きなど大いに盛り上がりしました。また、二人の選手から生徒たちに「伝えたいこと」としてお話をいただきました。

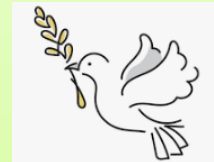
二人の選手からのメッセージ

<夢とチャレンジについて>

- ・夢を持ったら、あとは諦めず、全力で突き進むのみ。
- ・本気になれば、夢は叶う。
- ・本気で夢を追ってれば、人はちゃんと自分を見ていてくれる。認めてくれる。
- ・今は、チャレンジし続けるとき。
- ・やってみなきゃ分からない。無理なのかどうかも分からない。欲をもってチャレンジしてほしい。
- ・チャレンジを続けている限り失敗はない。失敗と思うことも一つの学び。
- ・いきなりゴールはない。小さなステップを積み重ね、やっとゴールが見えてくる。
- ・夢に向かって全力でチャレンジしている人は自分のことを好きになれる。

<いじめについて>

- ・いじめのようなかっこ悪いことをする人になってほしくない。
- ・いじめでしか自分を満たせないような悲しい人になってほしくない。
- ・全力で頑張っている人は、いじめなんてしているヒマはない。
- ・いじめをしている自分のことを好きになれるはずがない。



生徒たちは「本物」と触れ合い、貴重な体験となりました。DRAGONGATEのみなさん、本当にありがとうございました。



6月27日(金)に中体連地区大会及び各コンクール等に出場する部活動の壮行会が行われました。各部活動とも大会・コンクール等に臨む意気込みを語ってくれました。「感謝の気持ちを持って」「自分を信じて、仲間を信じて」「悔いの残らないように」「今までの練習の成果を発揮して」「最後まで決して諦めず」「やってきたことを信じて」など様々な熱い思いが込められていました。



なぜ七夕にお願い事をするのでしょうか？（諸説ありますが）
 それには、「乞巧奠(きこうでん)」という中国の風習が関係しています。乞巧とは、技巧を授かるようお願い、上達を願うという意味だそうです。つまり、織姫にあやかり、はた織りや裁縫の上達を願う儀式だったそうです。そこから、手習いや芸事が上手になるようお願い事をするにつながったようです。もともと、物事の上達を願うものだったんですね。